

これまでの「ものづくり」「ことづくり」に付加価値を付けよう!

新価値創出セミナー(第1回)

—ことづくり・ものづくりと新価値—

参加費 無料
お気軽に参加ください

◆開催概要

- 開催日時 平成27年8月28日(金) 午後2時~4時30分
- 開催場所 門真市中小企業サポートセンター分室(門真プラザ 2階)
- 定員 30名(先着順、ご参加いただけない場合のみ連絡を差し上げます)
- 主催 門真市中小企業サポートセンター

◆開催の趣旨説明

新価値創出は、「ことづくり」では顧客を引きつける魅力を更に増やすことであり、「ものづくり」ではその魅力を形に表すことです。顧客が価値を感じる「もの」をどう見出すかがカギになります。

例としては、新しい生産方法、新しい販路開拓、原材料や半製品の新しい供給源、新しい組織の実現などが考えられます。共感できる価値ならお金を出せる、そういう価値を如何に提供して行くかが大事だと思います。新しい価値創出に向けた脱一步のセミナーと位置付け、門真市内企業の皆様にお知らせしています。異質な情報の組合せにより、新しい価値を生み出し、しっかり儲けましょう!

なお、このセミナーは色々な講師をお招きして、数回の開催を予定しています。お楽しみに。

◆講演 1 (午後2時10分~3時10分)

「新価値創出のカギは、人の和にあり」

村田和彦(SST 設計開発センター株式会社 取締役開発営業部長)

◆講演 2 (午後3時30分~4時30分)

「デザイン思考と売れるものづくり」

石本和治(中小企業診断士・六次産業化プランナー・

Rin crossing アドバイザー)

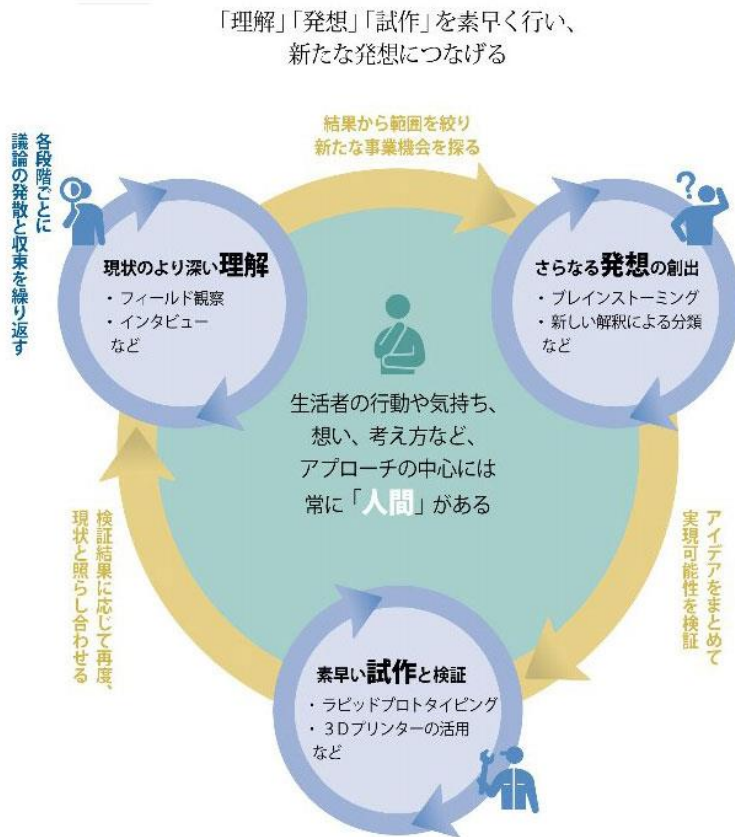
門真市中小企業サポートセンター(FAX:06-6995-4068)宛に8月25日までにお申し込み下さい。

門真市中小企業サポートセンター: TEL 06-6995-4068 E-mail kadoma-center@bz04.plala.or.jp

..... 参加申込書(切り取らずにFAXでお送りください。)

会社名		電話	
所在地		FAX	
参加者	(所属・役職)	(氏名)	
	(所属・役職)	(氏名)	

デザイン・シンキングとは何か



デザイン・シンキングとは直訳すれば「デザイン思考」であり、文字通り優秀なデザイナーやクリエイティブな経営者の思考法をまねることで、新しい発想を生み出そうとする手法である。ビジネスに活用すればイノベーションを起こせるのでは、と大いに期待されている。

既存の技術やマーケットをベースに論理的に発想するやり方を「ロジカル・シンキング」と呼ぶなら、デザイン・シンキングは発想の起点が全く異なる。デザイナーたちが重視するのは、生活者である人間の姿だからだ。

生活者がどんな行動を取り、どんな考え方をするか、どんな感情を示すか、などを詳細に観察し、時にはインタビューすることで何を求められるのかを把握することが、発想の起点になる。ニーズを理解できれば、簡単なスケッチを描いて示し、ニーズと合致するかを検証するデザイナーもいる。求められているものが明確になるまで、こうした作業を行きつ戻りつしながら、何度も繰り返す場合もある。

現状を分析・理解してアイデアを考え、プロトタイプを作って検証して再度、現状を分析したり考えたりする、といった思考法を優秀なデザイナーらは「頭の中」で無意識に行っている。

デザイン・シンキングの方法論を簡潔にまとめると、まずは生活者の状況を理解するため、現場の動きを詳細に観察する「フィールド観察」を行ったり、インタビューを実施したりすることが起点だ。分かった事実を基に議論して多くの意見を出し、その後は意見を収束させて、課題を浮き彫りにしていく。こうした「議論の発散」や「議論の収束」は、デザイン・シンキングのさまざまな場面で必要になる。

さらに課題の解決に向けてブレインストーミングの手法などでアイデアを出していく。解決策をまとめていき、試作品の開発に移る。最初は紙でもいいからすぐに試作品を作り、イメージを確認することが重要だ。生活者に試作品を見せるなどして試作品を検証し、不具合があれば再度試作品を作ったり、解決策を検討したりする。こうしたサイクルを何度も繰り返すことで、次第に完成へと近づけていくのである。